

子供ど真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和8年9月1日

長崎市立畝刈小学校

学校だより NO. 89

校長 田中 成年

＜子供ど真ん中教育＞

～第二学期の始まり～

令和8年度第二学期がスタートしました。朝から健康観察を済ませた子供たちは、体育館に集合しました。下の写真は体育館に集まる様子です。とても静かに集まり、みんなが集まるのを待つことができました。



まずは、熊本地震や千葉豪雨等、7月、8月の自然災害で亡くなられた方々に黙とうを行い、ご冥福をお祈りしました。



始業式では、私から自然災害にも触れ「**自分で考え、どう動くことで自分の命や人の命を守ることができるか**」学校で行う避難訓練でもしっかりと学んでもらいたいという話をしました。

続けて、「**あぜかい教育**」をみんなでしっかりと頑張ることができるようになり、自分たちの手で誰もが楽しい思いやりのあふれる学校にしてみたいという話や、2学期にある各学年の行事に触れ、すべての行事は、「**みなさんが主役**」で、その中で、「**今自分は何をすればいいのか、何をすればできるようになるのか**」を考えながら生活をしてもらいたいという話をしました。



次に、2年生2名と4年生2名の代表の子供たちが、夏休みの思い出や2学期に頑張ることなどを発表しました。



2年生・・・「海に行きました。ジェットスキーをしったり海に飛び込んだりしました。」
 「2学期は、算数のかけ算がすらすらできるように頑張ります。」
 「町探検では、お店や働いている人たちのことを調べるのが楽しみです。」
 「進んで気持ちの良いあいさつをします。」
 「『あぜかりだすき』を守ることができるよう頑張ります。」

2年生・・・「運動会のダンスを頑張りました。」
 「音楽でしっかり弾くことができてうれしかった。」
 「2学期は、体育の逆上がりができるように頑張りたいです。」





- 4年生・・・「8月31日にあった学童の打ち上げが思い出に残りました。6年生がお世話してくれたかき氷がおいしく、ヨーヨー釣りも楽しかったです。」
 「2学期は、良い点数を取ることができるよう漢字の練習を頑張りたいです。」
- 4年生・・・「夏休みは、流れ星を見たことが思い出です。」
 「2学期は、リコーダーの練習をしっかりと頑張りたいです。」

代表の4名だけではなく、子供たちそれぞれに楽しい思い出ができ、2学期に頑張ろうという「何か」を胸に9月1日を迎えたのではないかと思います。

楽しい充実した2学期になるように、それぞれにやりたいことを見つけて頑張ってもらいたいと思います。



最後は、みんなで校歌を歌いました。久しぶりということもあり、歌詞を忘れ、ちょっと元気がない歌声で残念でした。自慢の校歌です。また元気に全力で歌うことができるようになってもらいたいと思ったところでした。



畝刈小学校は、子供が主語・子供が主役

「子供と真ん中」の学校

「豊かな心を持ち、自ら考え行動する子供たち」を支えています。